

第2期多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略

かわら版【令和4年度の取組】



Vol.3

人口減少、急速な高齢化…

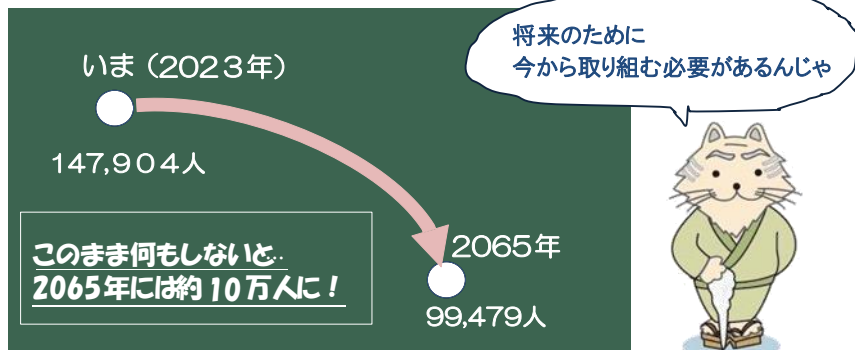
2065年、
多摩市はどうなる!?

6

多摩市の将来は
どうなるのかニヤ!?



にゃんともTAMA二郎



にゃんともTAMA左衛門

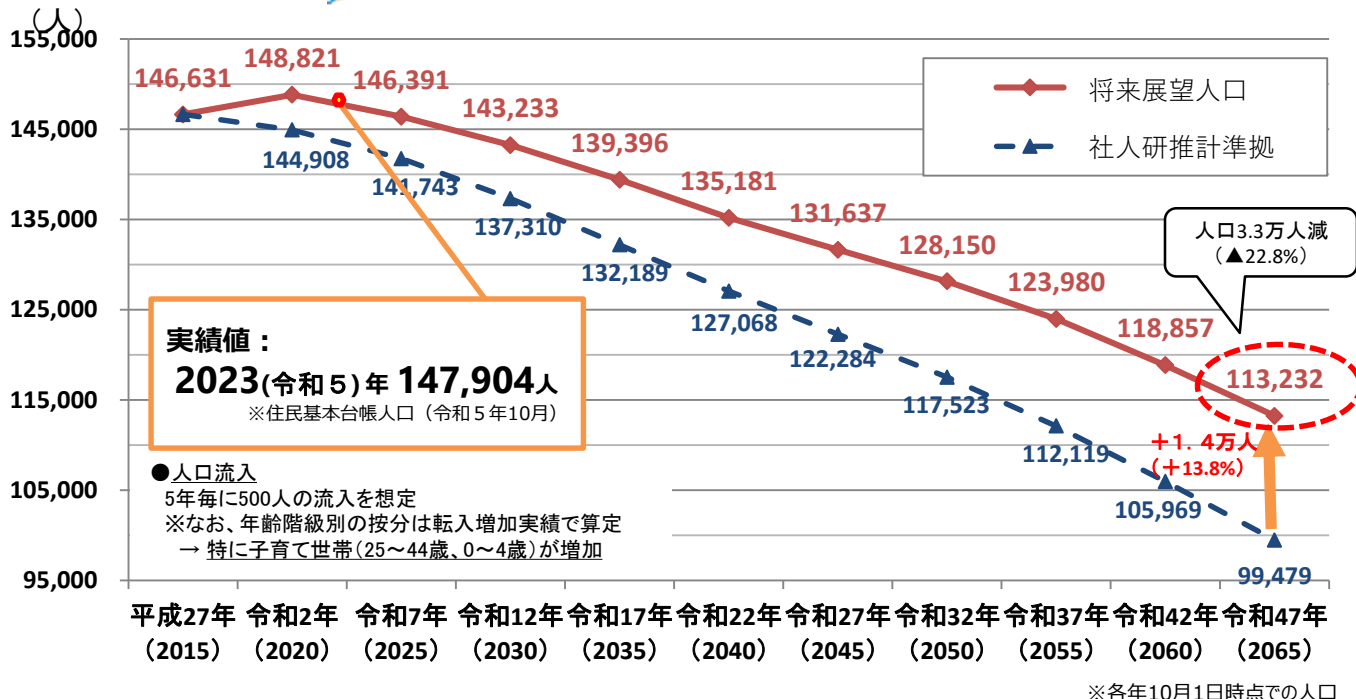
© 多摩市

日本の総人口が減少を続ける中、多摩市では「人口減少」や「急速な高齢化」への対応策として令和3年3月に「第2期多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、4つの基本目標と2つの横断的な目標を掲げ、様々な施策を実施しています。

第2期総合戦略3年目となる令和4年度は、新型コロナウイルスの影響が継続していたものの、「ウィズコロナ」に合わせた取組も進めました。

多摩市の人口の推移

～近年は横ばい傾向～



多摩市の人口は、大規模マンションの竣工等による転入増により、微増傾向にありましたが、過去最高の人口であった2019(令和元)年の人口(148,865人)と比べると、2023(令和5)年の人口は**147,904人**となり、若干ですが減少しました。令和5年度の人口は、社人研(国立社会保障・人口問題研究所)が2018(平成30)年に公表した推計人口を上回り、概ね多摩市の目標である将来展望人口どおりに推移しています。

令和4年度の取組実績

学識経験者、市民委員等で構成する「多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会」において、令和4年度の取組実績について評価いただきました。

■ 基本目標1：多様な働く場・働き方を実現し、安心して働くことができるまちをつくる

数値目標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	達成率
①法人均等割納税義務者数	3,767法人	3,924法人	3,862法人	165.3% (157/95)

●出典 ①市町村民税の納税義務者等に関する調（総務省）

多摩市まち・ひと・しごと創生
総合戦略検討委員会からの評価

B

基本目標1は、数値目標としては達成したものの、令和3年度に引き続き感染症対策や定員縮小をしながらの取組みとなったため、KPIを達成できなかった事業もありました。各事業の内容や進捗状況を総合的に見て評価を「B」としました。

トピックス

令和4年4月に企業立地促進条例を施行しました！

事業所の立地を促進し、税収・雇用機会の確保及び拡大のために、市内に事業所を新たに設置する企業等に対する奨励措置を講じる条例を施行しました。地域経済の発展及び市民生活の向上に寄与します。

奨励対象 拡大

誘致エリアを市内全域へ拡大、
既存物件の活用による立地も可能に

中小企業者 奨励要件 緩和

物件などの取得要件額を1.5億円へ
引き下げ、既存事業所の増築は
1億円から対象に

特例措置 拡大

本社、宿泊施設、省エネ優良
(ZEB認証)の施設の奨励金上限額を
1.5億円に(通常は1億円)

■ 基本目標2：まちの魅力を高め、これを発信し、多摩市に関わる人を増やす

数値目標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	達成率
①20歳～29歳の転入超過人口 (5年間累計・日本人のみ)	△868人 (平成27年～令和元年)	△492人 (令和2～4年)	△500人 (令和2年～令和6年)	98.4%※2 (492/500)
②30歳～49歳の転入超過人口 (5年間累計・日本人のみ)	623人 (平成27年～令和元年)	564人 (令和2～4年)	1,000人 (令和2年～令和6年)	56.4% (564/1,000)
③滞在人口率 (20歳台、休日、1月、14時)	0.91倍 (平成31年1月)	0.96倍 (令和4年1月)	0.95倍	125.0% (0.05/0.04)
④滞在人口率 (30歳台、休日、1月、14時)	1.01倍 (平成31年1月)	1.06倍 (令和4年1月)	1.05倍	125.0% (0.05/0.04)

※2 減少値を留める場合、達成率が高ければ評価は低いものとした

●出典 ①・②住民基本台帳人口移動報告 ③・④ RESAS

多摩市まち・ひと・しごと創生
総合戦略検討委員会からの評価

A

基本目標2は、「30～49歳の転入超過人口」が大規模マンションの竣工もあり大きく増加したことや、休日の滞在人口率も、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも順調に維持できたことから評価を「A」としました。

トピックス

パルテノン多摩をリニューアルしました！

大規模改修を進めてきたパルテノン多摩を2022年(令和4年)7月にグランドオープンしました。従来のホールやロビーの改修だけでなく、オープンスタジオ、各種ラボ、ミュージアム、こどもひろばOLIVEを新設しました。コンサート、ワークショップやセミナー、様々な活動など、多くの方に利用していただけるようになりました。



【評価基準】 ※目標値に対し、1年目は20%、2年目は40%(今回)、3年目は60%、4年目は80%、5年目は100%に達しているかどうかで判断

○評価A: 目標値を達成することができた。(令和4年度の実績が目標値の60%超)

○評価B: 目標値の達成に向けて、概ね進んだ。(令和4年度の実績が目標値に対して、達成度が36%以上~60%未満)

○評価C: 目標値の達成に向けて、順調に進まなかった(令和4年度の実績が目標値に対して、達成度が36%未満)

※ただし、実績値が現状値に対して下回っている場合の達成率の表記は、実績値と現状値の差分をポイント表示している。

■ 基本目標3 : 多摩市で産み、育てたいと思えるまちをつくる

数値目標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	達成率
①令和2年1月1日時点と比較した年少人口(毎年1月1日時点)数	17,258人 (参考:令和2年1月1日)	16,033人 (令和5年1月1日) △1,225人	1,000人減に留める	△1,225人

●出典 ①住民基本台帳

多摩市まち・ひと・しごと創生
総合戦略検討委員会からの評価

B

基本目標3は、「年少人口数」は目標値を下回ってしまいましたが、個々の施策においては、妊婦面接率の向上や子育てひろば事業への利用者数の増加、保育所の待機児童の減少に取り組み、目標値を達成しました。各事業の内容や進捗状況から評価を「B」としました。

トピックス

子育て世代包括支援センターが手厚くサポートします!

多摩市では、子育て世代包括支援センターが妊娠期から就学までお子さんの成長と子育てを応援します。妊婦面接(ゆりかごTAMA)、にゃんとも子育てLINE、赤ちゃん訪問、乳児検診、予防接種、育児相談など、さまざまなサポートをしています。



妊婦面接(ゆりかごTAMA)

■ 基本目標4 : ひとりでも安心して暮らし続けられるまちをつくる

数値目標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	達成率
①65歳健康寿命 (東京保健所長方式・要支援1以上)	男性:82.79歳 女性:83.97歳 (平成30年)	男性:82.75歳 女性:84.35歳 (令和3年)	男性:83.89歳 女性:84.37歳 (令和5年)	男性:△0.04 女性:95.0% (0.38/0.4)

●出典 ①東京都福祉保健局

多摩市まち・ひと・しごと創生
総合戦略検討委員会からの評価

B

基本目標4は、65歳健康寿命のうち、男性は目標未達、女性は目標達成となりました。フレイル予防のための「地域介護予防教室」事業においては、介護予防リーダーの養成や教室の新規立ち上げ増加を進めるとともに、新たに地域主体のプラットフォームを設置しました。各事業の内容や進捗状況から評価を「B」としました。

トピックス

元気な時からフレイル予防!

多摩市では、コロナ禍で外出を控えて運動不足になったり、人との交流が減ったことで、体と心の衰え進む「健康二次被害」を防ぐために、元気塾体験会、青空フレイル予防測定会、近所de元気アップトレーニング(近トレ)説明会、運動教室などの様々なイベントを開催しているほか、介護予防リーダーや生活サポーターの養成にも力を入れています。



▲青空の下でみんなで体操

■ 横断的な目標 1：多様な人材の活躍を推進する

数値目標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和4年度)	目標値 (令和6年度)	達成率
大学・企業等との連携事業、プロジェクト数	26件	61件	35件	388.9% (35/9)

多摩市まち・ひと・しごと創生
総合戦略検討委員会からの評価

A

横断的な目標1は、数値目標の「大学・企業等との連携事業、プロジェクト数」を達成し、個々の事業の「高齢者の就労支援」、「障がい者の就労支援」でもKPIを満たしていることから評価を「A」としました。

■ 横断的な目標 2：新たな時代の流れを力にする

数値目標	現状値 (令和元年度)	実績値 (令和3年度)	目標値 (令和6年度)	達成率
新たな技術を活用した企業数、サービス数	—	3件	5件	60.0% (3/5)

多摩市まち・ひと・しごと創生
総合戦略検討委員会からの評価

A

横断的な目標2は、数値目標の「新たな技術を活用した企業数、サービス数」を着実に増やし、令和4年度の達成度は目標を満たしていることから評価を「A」としました。

多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会からの主な意見

【令和4年度の評価について】

- ・項目数のうち、半数以上が目標を達成したものか概ね進んだものに振り分けることができ、良いと思いました。
- ・出生率の低迷、低下速度が速い。市外で出産後に転入してくることを考えると、子育てしやすい環境との認知があるのかもしれないと思います。全体としては、コロナ禍及びアフターコロナを考慮に入れると、AB評価の割合が多く、達成度は悪くないと思います。
- ・「まちの魅力を発信」について、年間を通して活動できるライターが確保できなかったとのことですが、次回ライターを確保するときには今回の反省を踏まえて募集し、より効果的な発信としてほしいです。
- ・令和4年度の取組状況を踏まえて、今後の展開を示しており、好ましい印象を受けました。なお、数値目標・KPI達成は過程に過ぎないため、本戦略の最終目標を見失わないよう推進していただけたらと願います。
- ・ファミリー・サポート・センター事業を通じて人と関わることで、コロナ禍でできた他人との壁をなくし、子育て世代の孤立を緩和していければと考えました。
- ・市民参加型で、数値に見えない取り組みを多くしており、今後に期待を持てるかと思えます。
- ・公共施設のことは知っていても何をしているかわからないということがあるので、公共施設のPRや地域の学校の社会科見学の一環として訪問するなど、周知することが必要だと考えました。
- ・これまでの社会増方策から、婚姻率・完結出生数の上昇に向けた方策に転換すべきだと思えます。
- ・出生率が低いのが問題だと思います。子育て世代の流入が多く、子育てしやすい環境であるとは言えるため、出生率減少の速度を少しでもゆるやかにしていくために、本当に住みやすい・住みたい街とは何かを考え施策としていく視点が大切になってくると思います。

多摩市企画政策部企画課 令和6年3月発行

所在地：〒206-8666 東京都多摩市関戸6-12-1 電話：042-338-6813 FAX：042-337-7658

詳しい情報は多摩市公式ホームページをご覧ください。

